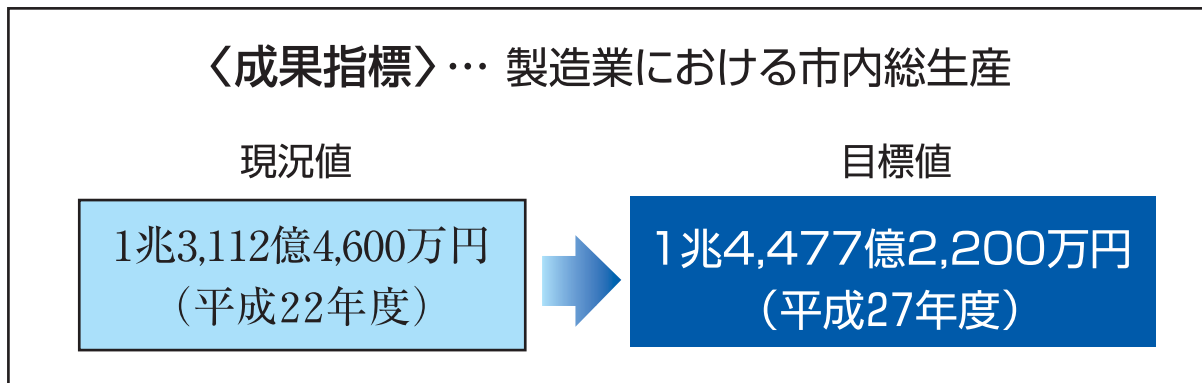


## 第11 成果指標

企業の生産活動により新たに生じた価値は、市民の所得に還元され、消費の拡大につながるという好循環が生み出される。このような経済の仕組みを踏まえ、ビジョンでは製造業における市内総生産を成果指標とする。

なお、ビジョンにおける個々の政策や施策等については、京都市政策評価制度\*に基づき、その進ちょく状況の検証を行っていく。



(注) 現況値については、推計値である。

(参考) 目標値の考え方

政府が発表した「新成長戦略」において、今後の年次における平均成長率(実質)を毎年2.0%ずつ増加させるとしている。この考え方に基づき、本ビジョンでは、製造業における京都市内総生産の平均成長率を毎年2.0%ずつ増加させることとする。

---

※京都市政策評価制度

政策目的がどの程度達成されているかを評価し、市政運営に役立てるための制度。京都市基本計画の政策体系に基づき、政策と、政策をより具体化した施策を評価対象としている。